

伊勢原協同病院 初期臨床研修プログラム

地域保健・医療

I プログラムの名称

伊勢原協同病院 地域保健・医療初期臨床研修プログラム

II プログラムの指導者

統括責任者

高畑 武司 副院長

指導者

西田 里佳子（介護老人保健施設 ほほえみの丘 施設長）

III 一般目標

将来の専門性にかかわらず、地域保健活動を理解し、地域の基幹病院をベースとして、老人保健施設、福祉介護施設、診療所を含む地域医療のシステムを理解し、地域医療を実践できる。

IV 行動目標

- (1) 患者－医師関係
- (2) チーム医療
- (3) 問題対応能力
- (4) 安全管理
- (5) 診療および退院計画
- (6) 医療の社会性

V 経験目標

- A 根拠法令に基づいた地域保健活動を理解する。
- B 退院準備の段階に入った患者を受け持ち、地域と連携した退院計画を立案することができる。
- C 地域の医療・保健・福祉資源（老人保健施設、特別養護老人ホーム、デイケア、デイサービス、訪問看護ステーション、保健所、保健センター、診療所など）に関する知識を習得する。

VI 研修スケジュール

- 1 ヶ月の研修期間において、ほほえみの丘をベースとし、地域の医療・保健・福祉施設を含めて実習を行う。
 1. 地域との連携が不可欠な新入院患者を受け持ち、初期評価、診療計画の立案、実習期間中の経過観察を主治医として行う。
 2. 退院準備の段階に入った入院患者を受け持ち、主治医として具体的な退院計画をたて、

医学的に必要な準備，制度利用，地域資源の活用・連携などを行う。また，家屋評価，在宅訪問などを必要に応じて実施する

3. 家族指導，コメディカル，地域スタッフとのカンファレンス等にも参加する。
4. 受け持ち患者に関連した地域資源を訪問し，見学実習を通して当該施設の役割，利用方法など具体的なサービス内容を理解する。